



大阪から仙台へご旅行に来られたお客様をサポートしました。



大阪在住のT様より「一人で仙台へ旅行に行った時のサポートを頼みたい」と問い合わせがございました。仙台が舞台の西村京太郎のミステリードラマを観て、仙台・秋保温泉へのご旅行を計画されたとのことでした。

T様は何度も宮城県にいらしたことがあるようですが、今回は久しぶりだけれど体が以前より不自由になり一人では不安だということで当社が松島観光のお手伝いをさせて頂きました。

当日は仙台空港にてお出迎えをし、まず牛タン屋へ向かいました。実はT様は牛タンを召し上がるのは初めてだったそうです。「思ったよりも歯ごたえがあるね」との感想でした。ご友人へのお土産も購入し、次は塩釜マリゲートへ。

こちらからは遊覧船に乗り、松島へと向かいます。遊覧船では2階のグリーン席の一番前でたくさん島々の写真を撮りつつ、ゆったりと約1時間の船旅を楽しみました。

松島へ到着した後は円通院へ。瑞巖寺の沿道を楽しみにしていらっしゃいましたが、あいにく津波による塩害で木々は切り落とされており、沿道は工事中となっております。



瑞巖寺の隣の円通院に向かうと紅葉がはじまっており、綺麗な庭園を堪能して頂きました。

その後、ドラマの舞台となった秋保温泉のホテルまでお送りし、T様は翌日の飛行機で大阪へ帰られました。

さっそく来年の秋のご旅行依頼も受け、日光へ紅葉狩りに行く予定となりました。その際もしっかりサポートさせて頂きます。





青春を過ごした山形で懐かしい母校巡り&温泉を満喫



10月中旬、仙台市内の特別養護老人ホームに入居されているI様と、当社の男性ヘルパーが山形方面への日帰り旅行へと行って参りました。

当初、宿泊旅行の希望もありましたが、久しぶりの外出ということで、まずは日帰りでご利用して頂きました。

山形はI様が青春時代を過ごされた地で、今回は母校や懐かしい地を巡る旅となりました。

当日は当社とお付き合いの深い『たけのこ介護タクシー』のリフト付き福祉タクシーにて出発です。

お天気も良く、木々の葉も色付きはじめていましたので、移動中も秋の景色を楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

小学校、中学校、高校と巡り、当時を懐かしみながら思い出の地を訪れました。



バリアフリーが重視された貸切風呂がある『有馬館』にて昼食をとりました。温泉では肩までじっくり湯船に浸かり、とても満喫して頂いたようです。

その後は施設の方々へお土産を購入したりテレビ等で話題のPepper君とお話をしたり・・・楽しい思い出を作って頂きました。

「次はぜひ宿泊で」とのリクエストも早速頂いております。

旅日記ではこれからも一人ひとりに合わせたオリジナルな旅行を提供していきます。





日帰り社員旅行のお手伝いをさせていただきました！



6月末、山形方面への日帰り社員旅行のお手伝いをさせていただきました。

こちらの会社は障害者雇用を促進しており、昨年設立したばかりの新しい会社とのこと。今回初めての社員旅行ということで2月に問い合わせを頂きました。それからは担当の方と何度も相談を重ね、プランを作成し、無事旅行を終えることができました。

その時の様子をお届け致します。

出発日前日に東北南部の梅雨入りが発表され、当日もあいにくの天気でしたが、皆様元気に出発されました。社員に電動車椅子の方が1名いらっしゃいましたので、「東和観光バス」の車椅子用リフト付き大型バスを手配致しました。最大で車椅子を4台そのまま乗車することができます。

まずは作並にある「ニッカウキスキー仙台工場」の見学です。こちらの約60分間の見学コースは車椅子でも問題なく見学することができます。皆様のお目当ては見学後の試飲だったのでしょうか。様々な種類のウイスキーを楽しみほろ酔い気分次目的山形県高島にありませ「よねおり観光センター」へと向かいました。



皆様の日頃の行いが良いせい、山形では、宮城で降っていた雨が嘘のように止み、日差しが暑いほどでした。「よねおり観光センター」では、昼食に米沢牛のステーキを召し上がって頂きました。昼食後の皆様のお顔を見るにあたり、現地で食べる米沢牛の味は格別だったようです。

最後は6月の旬真っ盛りのさくらんぼ狩りです。「牧野観光フルーツ園」では車椅子でも取れる高さのさくらんぼの木が多くあります。脚立に登れる方は上に生っているさくらんぼも召し上がっていました。お昼の後でしたが、皆様甘いさくらんぼを堪能し、お土産用にも買っていかれる方が多くいらっしゃいました。

初めての社員旅行ということで今回は日帰りとなりましたが、次回はずいぶん宿泊で温泉等お楽しみ頂ければと思っております。



2015年7月1日オープン！

仙台うみの杜水族館のバリアフリー調査へ行ってきました。



(株)旅日記とNPO法人ゆにふりみやぎが共同運営をしている『仙台バリアフリーツアーセンター』のスタッフが、オープンしたばかりの「仙台うみの杜水族館」へバリアフリー調査へ行ってきました。

調査は閉館後におこないましたが、閉館ギリギリまでお客様がたくさんいらっしゃいました。注目度の高さが伺えます。

そんな「仙台うみの杜水族館」、高齢者や障害者の皆さんも安心して楽しめるのかどうか…お届け致します。

1階は日本の海にいる生き物達のエリアです。マリニピア松島水族館でも人気だったマンボウもこちらにいます。

館内通路は平坦で車椅子でも問題なく移動ができます。しかし、説明パネルが上の方に設置されているので車椅子の方や小さなお子様は少し見辛いかもかもしれません。

1階部分の観覧の後は2階への移動になります。移動にはエスカレーターかエレベーターを使用します。

エレベーターは車椅子が2台乗っても余裕がある広さです。

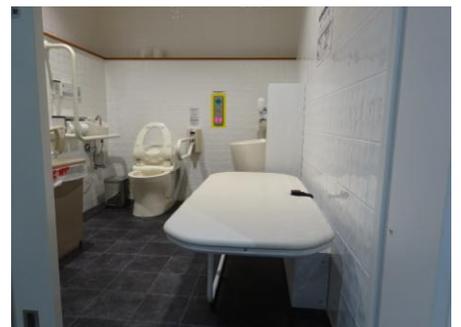


2階は世界の海にいる生き物達のエリアです。水族館のメインともいえるイルカのショープールはこちらにあります。プール前には車椅子専用の待機場所があり、係の人が案内してくれます。車椅子の観覧場所はなんと一番前！大迫力のパフォーマンスを目の前で見ることができます。イルカのジャンプによる水しぶきで濡れてしまうこともあるので注意してください。(2階にも観覧できるスペースがありますのでご安心を)この日は閉館後でしたがイルカ達がのんびり泳いでいるところを見ることができました。

2階には他にもペンギン等があり、時間帯によっては直接触れ合えるコーナーもあります。

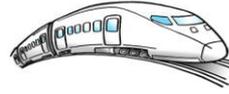
館内にトイレは4箇所あり、全てに多目的トイレがあります。トイレ内はやや狭く車椅子では回転が難しく、車椅子に座っていると洗面鏡に顔が映らない高さや角度だったのが少し残念でした。右の写真は1階のお土産ショップ近くのトイレです。こちらには簡易ベッドがっていました。

簡単なお紹介にはなりませんが、他にも気になる点がございましたらお気軽に旅日記までご相談ください！



旅日記便り

ヘルパー付き介護旅行



第14号 2015.6.17発行

リピーターのお客様と盛岡から1泊2日の東京旅行へ 東京ステーションホテルやスカイツリーを満喫して頂きました。



今回は、旅日記のリピーターでもあります盛岡にお住まいのN様との1泊2日の東京旅行をご紹介します。

N様には、東京にお住まいの息子様夫婦の元に訪問する際や大ファンである歌手のディナーショーへ参加する際に旅日記をご利用頂いています。

出発したのは5月の暑い日、ヘルパーがご自宅にお迎えにあがり、盛岡駅から「はやぶさ」に乗り東京へと向かいます。お話することが大好きなN様。新幹線の中でも楽しくお話が続き、あっという間に東京へと着いてしまいました。

到着後はまず銀座の歌舞伎座へ。以前東京に20年ほどお住まいであったN様は歌舞伎が大好きで昔はよく観劇していたそうです。「新しい歌舞伎座を見てみたい」とのことで訪れました。まず綺麗な外観を眺め、すぐ隣にある日本料理屋「ほうおう」にて歌舞伎座を真横に眺めながら昼食です。色とりどりの料理が並び、「こんなに食べられるかしら？」と不安そうなN様でしたが、美味しいお料理に舌鼓を打ち、全て完食されました。

その後は歌舞伎座の中のお土産屋や屋上庭園を見学です。途中地震が起こりやや大きな揺れがありましたが、何事もなく無事に歌舞伎座を後にしました。



今回宿泊したのは東京駅丸の内駅舎の中にある「東京ステーションホテル」です。お部屋はバリアフリールームではありませんがゆったりとした作りで車椅子での移動も可能です。

夕食は息子様ご夫婦と東京駅近くのレストランで一緒にお召し上がりになって頂きました。久しぶりの再開に時間を忘れるくらいお話が弾んだようで、お部屋に戻ったあとも楽しそうにしていって頂きました。

ホテル館内には
バリアフリー対応トイレも
あります。



翌日は東京スカイツリーから東京の街並みを眼下に望み、ソラマチのムーミンカフェにて休憩(かわいらしいお客様との相席も!)、その後はなんと、ファンクラブのはからいで大ファンの歌手の方に直接お会いし、まさしく夢のような時間を過ごされました。

帰りの新幹線では「次はどこへ行こうかしら？」と早くも次の旅行計画を考えるN様なのでした。



旅行のご相談、お問い合わせは・・・ (株)旅日記

TEL: 022-266-1170

<http://www.tabi-nikki.net>



御夫妻が心待ちにしていた息子様の結婚式へ お祝いの日もヘルパーがサポート致します。



よく晴れた5月の土曜日。仙台市泉区にお住まいのW様御夫婦より『東京で行われる息子の結婚式に参列したい』とのご依頼を受け、お身体の不自由な御主人をサポートするべく男性ヘルパーが同行させて頂きました。お電話を頂いたのが昨年冬。それから何度も打ち合わせを重ね、待ちに待ったお祝いの日がやってきました。

仙台駅で御親戚の方々と合流、東北新幹線で東京へと向かいます。奥様お手製のスーツをお召しになって、どこか緊張した面持ちです。

会場は東京駅からすぐの立地の良い場所でしたので、ヘルパーが車椅子を押してそのまま向かいます。式の最中では新幹線での移動でお疲れになられたのか、控え室で一時休まれる場面もありました。しかし後半は、息子様の晴れ姿を前にお休みすることもなく頑張っておられました。新しい門出の日を迎えられた息子様の姿を見て、喜びもひとしおのことだったのではないのでしょうか？



後日、その後の体調等ご様子をお伺いするために再度W様宅を訪問させて頂きました。結婚式でパワーをもらったのでしょうか、以前よりもお元気そうなお顔をいらっしゃいました。奥様と一緒に、結婚式の写真をニコニコしてご覧になっておられました。W様御夫婦にとって思い出に残る日のお手伝いできたようで、私共も嬉しく思います。

お身体に不安があって冠婚葬祭に参加できないのでは…とお悩みの方がいらっしゃいましたら、まずは一度弊社までお問い合わせください。



福島の磐梯熱海温泉『松柏』がバリアフリー化改修 当社でモニター旅行をおこないました



福島県の磐梯熱海温泉にあります旅館「松柏」が客室や大浴場を一部バリアフリー改修することになりました。旅館側の『お客様の生の声を参考にしたい』という要望から改修前と改修後のモニタリングを行うこととなり、昨日、まず改修前の宿泊モニター旅行を当社で実施致しました。多数応募を頂いた中から2組のご家族にご協力を頂きました。ありがとうございました。

1組目のI様ご一行は車椅子のご主人と奥様、ご子息様とご親戚2名の合計5名で宿泊して頂きました。I様は温泉が大好きで昔は色々なところへご旅行へ行かれていたそうです。車椅子になってからは家族風呂(貸切風呂)を利用し、奥様が介助されていましたが、今回は男性ヘルパー2名で対応し、大浴場で広々と安心して入浴して頂けました。翌日は喜多方ラーメンを食べに行く予定を更に足を伸ばして大内宿まで行き、福島観光を満喫されたとの楽しい報告を頂きました。



2組目のF様ご一行は車椅子のご主人と奥様、そして郡山にお住まいのF様のお母様とご親戚2名の合計6名でご宿泊して頂きました。F様が病気で倒れてからは奥様と2人でリハビリを頑張り、最近では日帰りでの外出はよくされていたとのことでした。今度は宿泊を伴う外出を検討していたところ、ケアマネジャーから今回のモニターの話が飛び込んできたそうで、奥様が「これはチャンスだ！」と申し込まれたようです。旅館では久しぶりに会うお母様との感動のご対面もありました。

今回は改修前ですので客室やトイレ、大浴場には手すり等が無く、ヘルパーが付いてもどちらのお客様も不安な点があったようです。改修後にもう一度お泊まり頂き、使いやすくなったのかどうか確かめて頂きます。

当社では高齢者やお身体の不自由な方が気楽に宿泊できるよう、旅館・ホテルの皆様にはバリアフリー化をすすめています。





青春の1ページ、車椅子で双子兄弟の修学旅行

今年(平成26年)もあともう少しで年の終わりの12月です。思い起こせば、今年が始まったばかりの1月、都立S高校のO先生より問い合わせのメールが旅日記宛に入りました。

「秋に東北へ修学旅行に行くが、身体が少し不自由で車椅子利用の双子がいる。是非一緒に連れて行きたいが団体旅行ゆえに移動などに手間取ることが心配。3日間の旅行中、現地で随行して入浴を含む介助をやってほしい。」との依頼内容です。

当社は、高齢者のヘルパー付き旅行を中心にしてしておりますが、「旅行をしたい気持ちは皆同じ。100人いれば百通りの旅行がある。」との思いから即座にご依頼をお受けいたしました。(全体の旅行はトップツアー(株)殿が監修・手配。当社は介助業務部分のみを都立S高校から受託。)

具体的行程は決まらない中での事前打ち合わせも、既に7月にすませ、出発の11月5日になりました。

東京駅7時56分発の東北新幹線はやぶさ101号が一ノ関駅に到着。ホームからは、双子の兄弟 航君と翔君にそれぞれ1名ずつヘルパーが付き、東口に居並ぶ貸し切りバスに乗り込み、一路、東日本大震災被災地である南三陸町へ向かいます。

南三陸町では、自身は高台にあったため津波被害は他に比べて少なく、震災後避難者を長期にわたり受け入れたホテル大観荘の女将から当時の話を聞きました。

その後、防災センターなどの被災場所を視察後、花巻温泉で宿泊。初日の興奮もあり部屋で夜遅くまでにぎやかだったようですがヘルパーはそのところはノータッチ。



翌日は、各個人でいくつかのコースを選択します。航君、翔君は同じ盛岡 “小岩井牧場”1日のんびりコースを選び、まずは牧場内自然散策です。

他の生徒は徒歩で、牧場や林の中を1時間以上かけて歩きますが、さすがにそれはむずかしいので二人はガイド付きのトラクター・バスに揺られながらの散策となりました。

[→裏面へ続く](#)

散策の後は、自分たちの手による自分たちのためのバター作りです。

残念ながら2階の研修室まではエレベーターがなく、ここはしっかりとヘルパーの補助と自力で必死に2階まで登り切りました。

二人で競争しながら一生懸命楽しくバター作り。できあがったバターはスプーンでこそぎ落として舐めるくらいの量しかありませんでしたが、二人の顔はとも満足げでした。



退園時間も近くなり、航君(弟)だけがのんびりロバ語を話しながら、ロバとの世間話。

さて、どんな話題が出たのやら？



2日目の夜は、盛岡の奥座敷つなぎ温泉「紫苑」での宿泊です。

前日の花巻では温泉ホテルであったものの、部屋のユニット・バス利用の入浴だったため、物足りない思いをした兄弟でありましたが、この夜は、豪華絢爛貸切温泉露天風呂での入浴です。

露天風呂ということもあり、当社も不測の事態を避けるため、グループ会社がつなぎ温泉で運営しているデイ・サービスから1名応援を頼み、総員3名でのフォローです。

一緒に風呂に入った経験が無いという二人には肩を並べながら、湯あたり間近まで天然風呂を満喫していただきました。初めて二人でお湯にのんびり浸かって、鼻歌も絶好調。



3日目は、平泉の毛越寺と中尊寺見学。

中尊寺は、普通であればやや険しい参道を登らねばなりません。二人は車で先回りをして、本堂近くからの参加です。

金色堂前でお定まりの集合写真ですが、一番手前に座っている航君(兄)は、一人だけどっちの方向を見ているのでしょうか？

最後の写真は特別公開、翔君(弟)の寝起き写真です。

よく食べて、よくはしゃいで、よく寝て、皆さん楽しく高校生活をエンジョイしているようでした。

団体旅行でタイトなスケジュールの中、車椅子の双子をなるべくクラスメートと同じ行動をとりながら介助するというのは結構大変なフォローでしたが、おかげで一緒に楽しい旅行を過ごさせていただきました。



ご相談、お問い合わせは・・・

(株)旅日記

TEL: 022-266-1170

<http://www.tabi-nikki.net>



ヘルパーとならどこへでも！日帰りで福島競馬場へ



競馬場にも車椅子専用席があるのはご存知でしょうか？

福島競馬場の車椅子専用席は、車椅子が6台まで座ることができます。付き添い人は椅子を準備してもらえますので隣に座ることができます。館内もバリアフリー設備が整っておりますので車椅子での移動も難しくありません。

この日のレース自体は新潟でおこなっており、スクリーンでの観戦となりましたが、お客様の馬券は大当たり！笑顔で仙台までの帰路についてました。



旅日記便りもこの号で第10号となりました。今回は9月10日にご利用して頂いた、70代男性M様(車椅子利用)のお出かけの様子をお届け致します。

当社との最初のお出かけは永代供養と仙台市内へのお買い物へ。段差が多いお寺や、人が多いショッピングセンターでもしっかりヘルパーがサポート致しました。

2回目は9月にご趣味の競馬をご自分の目で確かめたいと福島競馬場へ。競馬新聞でしっかり予習をし、気合十分のM様とヘルパーが福島競馬場まで行って参りました。



そして福島競馬場でレースが行われる10月、実際に馬が走っているのを観たいとの要望で、再びヘルパーと一緒に福島まで行って参りました。

目の前で繰り広げられる熱戦に、お昼ご飯を食べるのも忘れてしまいそうなくらいの盛り上がり。そして今回も見事大当たり！

お出かけしたい場所は人によって様々です。旅日記は日帰りからご利用できますので、ヘルパーと一緒に安心して安全なお出かけをしてみたいかがでしょうか？

お気軽にご相談、お問い合わせください。

旅日記便り

ヘルパー付き介護旅行



第9号 2014.10.22発行

仙台の奥座敷、秋保温泉で秋のご旅行を楽しみました。



前回の旅日記便りから間があいてしまいましたが、木々の葉も色づき始めて季節はすっかり秋となっております。

今回は旅日記のご利用が2回目となる、H様のご旅行の様子をお届け致します。

普段は市内の病院でお過ごしになっているH様。栃木県にお住まいの妹様が病院まで頻繁に通ってられますが、なかなかゆっくりとした時間を過ごすことができません。

そこで昨年は、秋保温泉の「きよ水」で美味しい料理や綺麗な自然といった、いつもと違う時間を過ごして頂きました。

今年は“昨年と違う所に行きたい。”という御希望があり、秋保温泉の「蘭亭」に1泊することとなりました。今回は妹様の旦那様もおいでになりました。

秋保温泉は仙台市内から約30分と移動時間も少なく、オススメの温泉地です。

「蘭亭」では夕食をお部屋で食べることができます。仲居さんがお部屋の近くにいるので、お料理を見てから刻み食にすることが可能です。



いつもと違うお食事にH様は舌鼓を打ち、同行したヘルパーもびっくりするくらいたくさん召し上がっていたそうです。特に秋の味覚でもある栗ご飯をお気に召していたとのこと。やはり、旅行先での食事は格別です。

女将さんとも写真を撮ることができ、1泊2日の短いご旅行ではありましたが、満喫して頂けたご様子でした。

仙台・宮城には少し足を伸ばせば温泉も多くありますので、ゆっくりとした1日を過ごすのもいかがでしょうか？

ご相談、お問い合わせは・・・(株)旅日記

TEL: 022-266-1170

<http://www.tabi-nikki.net>

旅日記便り

ヘルパー付き介護旅行



第8号 2014.6.25発行

ヘルパーと共に再び東京へ！お客様の外出をサポート致します。



テレビも見られます

今年2月に弊社を御利用頂いたI様より再度ご用命があり、東京で行われる会議へ参加するために弊社の男性ヘルパーが同行して東京まで日帰りで行って参りました。(旅日記便り第5号参照)

前回は大雪でしたが今回は暑いくらいの陽気です。

弊社の女性スタッフもお見送りに駆けつけ、出発までの時間を仙台駅構内にある車椅子待機室で過ごします。

待機室内はテレビと冷暖房が備え付けてあるので待ち時間も快適です。部屋の隣には救護室、車椅子で入れるトイレがあります。

右の写真はご出発前の1枚です。ご利用が2回目ということで男性ヘルパーとも打ち解け、だいぶリラックスしてくださっているのか、にこやかにご出発なさいました。

東京駅からは介護タクシーへ乗り込み、会議の会場である国立オリンピック記念青少年総合センターへ向かいます。

児童福祉に広く携わってこられたI様、お年と重ねても子ども達のために尽力なさっているお姿は思わず尊敬させられます。

夕方、会議を後にし東京駅へ。前回は渋滞に巻き込まれてしまったのですが今回はすんなり到着。新幹線の出発時間まで余裕があったので東京駅周辺を散策、お土産を買い帰路につきました。



東京ステーションホテル前にて

とても暑い1日でしたので体調が心配でしたが、水分補給をこまめに行ったのもあり元気に仙台へ帰ってくることができました。

そして前回同様夕食には焼肉を召し上がったそうで、やはりパワフルなI様なのでした。

みなさまのご利用も、心よりお待ちしております！！

ご相談、お問い合わせは・・・(株)旅日記

TEL:022-266-1170

<http://www.tabi-nikki.net>



桜も見ごろな山形県長井市へ、御兄弟の久しぶりの再会です。



宮城野区にお住まいのN様奥様より、「主人を山形県長井市の実家に連れて行ってあげたい」との依頼を受け、弊社の男性ヘルパーが1泊2日でお連れしました。

以前は御実家まで御自身で車を運転していたそうですが、ここ何年かはパーキンソン病の進行もあり訪ねることができないでいたそうです。

御旅行当日、介護タクシーにて御自宅を出発。休憩を何度か取りつつ道の駅【白鷹ヤナ公園 "あゆ茶屋"】にて昼食です。今が旬の子鮎の唐揚げ丼を美味しく召し上がっていました。

御実家ではお兄様とお姉様がお待ちでした。約2時間程、久しぶりの御実家でくつろがれたようです。

そしてお兄様お姉様と共に【丹泉ホテル(赤湯温泉)】にて1泊。バリアフリーの貸切風呂では介護ヘルパーと介護タクシードライバーの2名体制で温泉を堪能していただきました。

お酒が大好きだというN様、夕食時にはワインもお召し上がりになられ、歌も歌われるなど数年ぶりの再会を皆様楽しんでおられた御様子でした。



翌日はお兄様お姉様を御実家まで送る途中に、樹齢約1200年で天然記念物の【伊佐沢の久保桜(山形県長井市)】を觀賞しました。また、仙台への帰路の途中には作並の桜街道にて満開の桜を觀賞しながら無事に御自宅へと帰って参りました。

N様には久しぶりの遠出ということもありとても御満足して頂き、「外出を諦めることはしなくて良いんだ」と感じて頂いた御旅行となったようです。





那須塩原でお孫様ご夫婦とお食事、そして憧れの大女将とのご対面



昨年夏、86歳のK様より「那須の塩原温泉【松屋旅館】の大女将の書いた歌集に深く感動し、ぜひご本人にお会いしたい。」という希望を綴られたお手紙が弊社へ届きました。

K様と娘様となんども打ち合わせを重ねて暖かくなってきた4月、ついにその希望を実現するため那須塩原へ行くお手伝いをさせて頂きました。

入所されている八木山の施設から仙台駅まで介護タクシーで移動。仙台駅からは新幹線で約1時間的那須塩原へ。駅でまた介護タクシーに乗り、【かんぼの宿塩原】に向かいました。

お宿では、現在は東京にお住まいのお孫様ご夫婦が到着を待っておられました。

夕食の際にはK様、娘様、お孫様ご夫婦の4人でお料理とお話を楽しまれている御様子でした。

「今年はひ孫が2人産まれるの」とにこにこしながらお話ししてくださいました。

お話をしている様子や、ご旅行中にお召しになっていたズボンは孫娘様からのプレゼントであったりと、お孫様ご夫婦もK様のことをとても気遣っていることが伝わってきます。



翌日、大女将にお会いするために【松屋旅館】を訪れました。念願のご対面です。

清流を見下ろせるラウンジで、コーヒーを頂きながら、たくさんお話をされていました。

プレゼントに新たな歌集も用意してくださり、「宝物が増えました。」とK様もとても嬉しそうでした。

帰りもお孫様ご夫婦がホームまでお見送りに来てくださり、新幹線であっという間に仙台へ。

「全然疲れてないわ」と最後までお元気な様子でした。

「私は周りの人に恵まれているの」と何度もお話して下さったとても謙虚なK様。

ご旅行後には桜の柄のかわいらしいお礼のお手紙も頂きました。ありがとうございます。

最後まで感謝の気持ち、周りの人を思いやる気持ちが随所に見られた、素敵なご旅行となりました。





東京で行われた会議へ、日帰りでヘルパーと共に外出！



先日、東京で行われる「特定非営利活動法人日本子ども養育研究会」の会議へ出席したいというご依頼を受け、81歳のI様と弊社の男性ヘルパーが日帰りで東京まで行って参りました。

出発前々日、前日と新幹線も立ち往生するくらいの大雪でしたので、とても心配ではありましたが、当日はお天気も晴れ、前日から家の前の雪かきをし、ご自宅の出発も早めにしたことで、介護タクシーも無事に予定通り仙台駅に到着することができました。（たけのこ介護タクシー様、雪道の安全運転ありがとうございます。）

駅では駅員さんが乗車まで案内して下さるので、安心です。手に持っているのはスロープです。東京駅とも連携を取ってくださり、同じようにスロープを持って待っていてくれます。

新幹線内にて会議の準備のため資料を熱心に読みこむI様。児童福祉に広く携わってこられたそうです。

東京駅からはまた介護タクシーへ乗り込み、会議の会場である国立オリンピック記念青少年総合センターへ向かいます。

会場ではたくさんの方々から挨拶をされており、I様の人柄が感じられました。

会議が終わった後もたくさんの方々とお話をし、名残を惜しみながら帰路へつきます。

仙台に着いてからは直接帰宅せず夕食に専門店へ焼肉を召し上がるなど、とてもパワフルなI様です。（美味しいものを食べるのも元気の秘訣かもしれませんね！）

旅行、観光だけではなくこのような外出にも対応できます。ぜひ旅日記をご利用ください！





昨年12月、仙台駅前にバリアフリールームのあるワシントンホテルがオープン！



あけましておめでとうございます。本年もヘルパー付き介護旅行を主とした外出支援サービスをおもてなしの心を込めて続けさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

昨年の12月17日、仙台駅前に仙台ワシントンホテルがオープン致しました。旧サンルートホテル仙台跡地、JR仙台駅西口徒歩約3分とアクセスがとても便利です。

通常の客室の他に女性に嬉しいレディースルーム、更には宮城県をテーマにしたコンセプトルームがあります。トイレとお風呂が別室になっていますので、ビジネスにも観光にも最適なホテルです。

オープン前、担当の方にバリアフリールームのご案内をして頂いた内容をお知らせ致します。ワシントンホテルにはツインのユニバーサルルーム(バリアフリールーム)が1室ございます。お部屋の入り口は通常のお部屋よりも広くなっており、ベッド間も75cmあり車椅子でもゆとりを持って移動ができます。



バリアフリールームのみトイレとお風呂が同じ部屋となりますが、こちらスペースは広く、十分にあります。

左の写真の通りドアは引き戸で、電気のスイッチも車椅子に乗っている方が押せるよう低めの位置についています。中に入ると手すりもついてます。

バスタブの脇には腰掛けて入れるようなスペースもあります。



仙台駅前のホテルにはバリアフリーのお部屋が少ないのでとても貴重な存在ですね。

皆様のご旅行の拠点にいかがでしょうか？

この旅日記便りの裏面に全国のワシントンホテルグループのバリアフリールーム一覧表を掲載しております。ぜひご参考の後、当社にご用命下さい。

お出かけのしやすい春のご旅行のご相談など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

旅日記便り

ヘルパー付き個人旅行



第3号 2013.5.10発行

憧れの俳優さんの住む国へ、韓国5泊6日のご旅行へ同行致しました。

先月は、仙台市折立にお住まいのHさん(69歳)と韓国旅行へ行ってきました。Hさんはイ・ビョンホンさんが大好きでいらっしゃいます。やや目が不自由ではありますが「ぜひ自分が元気なうちに韓国へ行ってみよう」との希望を叶えるべく、5泊6日でのゆったりした無理のないプランを作成し、今回同行させて頂きました。

朝鮮王朝時代の王宮である景福宮では門番とパチリ。桜も植えられていたので、仙台より先に韓国でのお花見も楽しみました。Hさんご自身も日本とはまた違う雰囲気建造物の数々にたくさんシャッターを切っていました。



景福宮に続く光化門広場はイ・ビョンホンさん主演のドラマ「アイリス」のロケ地になった場所でもあります。テレビで見た場所を間近で見ることができ、不思議な気分だとおっしゃっていました。

今回の旅のメインはイ・ビョンホンさんの事務所等に行けるツアーです。よく行くパン屋さん、事務所、韓国ドラマ「美しき日々」のロケ地・・・ご自宅にも行くことができます。(もちろん中には入れません。)
そこではなんと、イ・ビョンホンさんのお母さんにお会いすることができました！
ツアーのガイドさんも「とても珍しいことです！」と言っていました。
(下の写真はイ・ビョンホンさんご自宅前で撮ったものです。)



食事も「普段はあまり食べないの」とおっしゃっていたHさんでしたが、定番のキムチといった辛いものから焼き肉、チヂミまで「とても美味しい！」とたくさん召し上がっておられました。食事も旅行の醍醐味ですが、6日間しっかり堪能して頂けたようです。

最終日はとても名残惜しそうでしたが、憧れのイ・ビョンホンさんが住む韓国・ソウルに来られて良かったと、笑顔の帰国となりました。

思い切って日本を飛び出して、異国の文化を楽しんでみるのもいかがでしょうか？

できる限りの旅のお手伝いをさせていただきます。

(株)旅日記

<<http://www.tabi-nikki.net>>

旅日記便り

ヘルパー付き個人旅行



第2号 2012.10.2発行

夫妻の故郷の地、函館2泊3日のご旅行へ同行致しました。

今回は、小笠原敏雄さん(86歳 要介護2)と鏡さん(84才 要支援1)御夫妻より共通の生まれ故郷であり、新婚時代を過ごした函館を訪問したいとの依頼を受け、ヘルパー付での旅行プランを作成し、2泊3日の旅を楽しんでいただきました。

函館駅に到着してすぐに「函館山」山頂へ。函館山は夜景が有名で東洋一と言われておりますが、全体を見渡すために昼間に登りました。台風が近づいている時でしたが、空はまだ晴れており、昼間でも夜と変わらないくらい絶景です。



続いて、鏡さんの生まれた土地で、敏雄さんも仕事の関係で数年いたことのある森町へ。鏡さんのお姉さんが住んでいるケアハウスを訪問。森町は、「いかめし」が有名です。JR森駅前、元祖「いかめし」製造店前で一休み。

函館に戻り、「湯の川温泉」のホテルに宿泊。翌日は湯の川町の新婚時代に住んでいた下宿を探しましたが、時既に60年を経過し、残念ながら殆どの家が新しく、住んでいた頃の面影がありません。しかし、この執念が身を結びます。新婚時代の下宿は風呂がなく、よく二人して銭湯(もちろん湯の川温泉の湯)に通いましたが、その銭湯が昔とあまり変わらない姿で営業していたのです。敏雄さんは、わざわざ番台まで出向き懐かしく中を見渡しておりました。



最終日は、よく散歩に行った五稜郭公園などをタワーから展望の後、自由市場で好物の海産物を仕入れ、家路につきました。



当初、希望されたところを全部回るのは身体的にきついかと思われましたが、レンタカーを利用し、無理のないスケジュールと行程で、殆どの場所を回ることができました。

旅日記では、ご利用者様のご希望をなるべく叶えるべく、旅行案を作成します。「こんな希望はできるわけがない。」と考えておられる方、一度、ご相談下さい。

旅日記便り

ヘルパー付き個人旅行



第1号 2012.6.28発行

4月、厚生労働省へ難病指定のための陳情に同行。



「ギッテルマン症候群」の闘病生活をしている菅原真由美様からのご依頼を受け、「難病指定と研究促進」の陳情をするために、霞が関の厚生労働省へと同行させていただきました。もともと、ある居宅支援事業所より、「難病のため移動が大変だがなんとか本人の意志を叶えることができないか？」とのご相談があり、実は昨年4月に決行するはずでしたが3月の震災により残念ながら訪問できなくなっていたのです。

「署名をしてくれた人の中には震災で命を落とした人もいる。その人たちのためにも、ぜひ署名を届けたい。」

との菅原様の思いが強く、ようやく実現することとなりました。

東京駅日本橋口のロータリーにて

当日は嵐のような強風により全国的に交通がマヒし、盛岡ー仙台間が不通のため予定の新幹線が来ないなどのハプニングがありました。他の新幹線に乗り換えるなどして、無事厚生労働省にて副大臣の辻泰弘氏にお会いすることができました。やっと、長年の希望であった陳情書と1年越しの思いが詰まった7107名分の署名簿を渡すことができたのです。

その後、介護タクシーにて、両国のスカイツリーを見たり、しばし、軽い観光を楽しんだのですが、帰る時刻になっても強風の影響で新幹線は動きません。もともと長時間、座位の姿勢を保てないので、急遽東京駅近くのホテルを探し、休憩して頂くことに。東京駅も大混乱でしたが、その後数時間遅れでなんとか帰路につくことができました。帰りは、ゆったりと横になれるはやぶさのグランクラス車を確保しました。

スカイツリーもバリアフリー対応
になっているそうですよ。



帰りはあっという間に仙台に着いてしまいました。

今回は看護師1名＋ヘルパー1名で同行させていただきました。菅原様の体調を考え、安心の上、旅行を楽しんでいただけるプランです。地震や強風といった難関もありましたが、菅原様の思いは十分遂げられたのではないかと自負しております。

弊社ではお客様の状態や要望に合わせた旅行プランを作成しております。仙台でもリフト付きバスの手配ができるようになりました。涼しくお出かけにピッタリな秋の季節に向けて、今から気軽なグループ旅行を考えてみてはいかがでしょうか？